

必ず、お客さまにお渡し願います。



—配線自在収納モジュール— **配線革命** の安全に関するご注意

1. 施工上のご注意

警告	禁止	配線革命は、配線コードを収納する商品なので、本来の目的以外に使用しないでください。 ～破損・落下・火災・感電・事故の原因になります。～	禁止	商品の改造は絶対にしないでください。 ～破損・落下・火災・感電の原因になります。～
	必ず守る	施工は、商品の施工説明書通りに正確に行ってください。 ～施工に不備があると、破損・落下・火災・感電の原因になります。～		
注意	禁止	配線革命は、ストーブなどの高熱を発するものの近くや、高温になる場所に設置しないで下さい。 ～破損・変形・火災の原因になります。～	禁止	配線革命は、屋外など、直射日光の当たる場所に設置しないで下さい。 ～破損・変形・変色の原因になります。～
	禁止	配線コードを収納したまま施工を行わないで下さい。 ～配線コード、および配線革命の破損・火災・感電の原因になります。～		
	必ず守る	配線革命を床面用として設置しないで下さい。 ～製品を足で踏み付けたり、製品に重いものをのせたり、ものを落としたりすると、破損・変形の原因になります。～		
	必ず守る	施工後、軟質部は所定の位置に設定して下さい。 ～軟質部分の破損・変形の原因になります。～		

2. 使用上のご注意

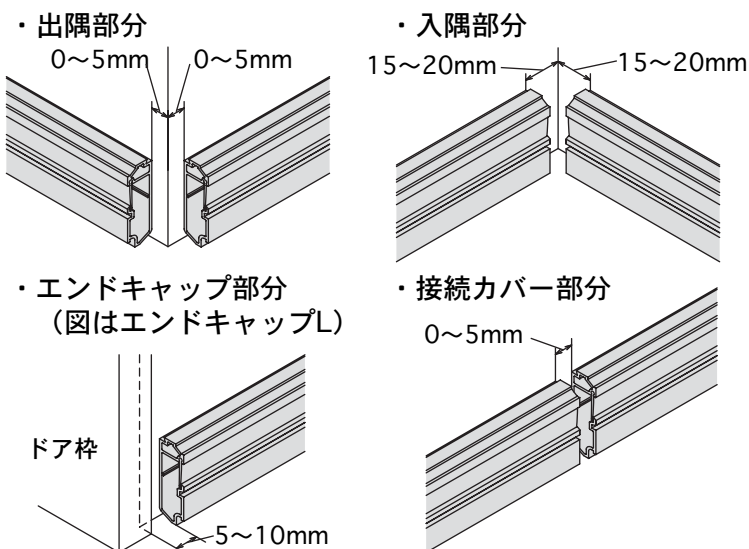
警告	禁止	配線革命は、配線コードを収納する商品なので、本来の目的以外に使用しないでください。 ～破損・落下・火災・感電・事故の原因になります。～	禁止	商品の改造は絶対にしないでください。 ～破損・落下・火災・感電の原因になります。～
	必ず守る	異常を感じたら、速やかに電源を切り、使用をやめてください。 ～電源を切らないと、火災・感電の原因になります。～		
注意	禁止	配線革命は、ストーブなどの高熱を発するものの近くや、高温になる場所で使用しないで下さい。 ～破損・変形・火災の原因になります。～	禁止	配線革命内部に、配線コード以外のものを入れないで下さい。 ～破損・火災・変形の原因になります。～
	禁止	配線革命に、乳幼児の手や足の指を入れないでください。 ～思わぬ事故やケガの原因になります。～	禁止	配線革命に、溶剤や殺虫剤を製品にかけないで下さい。 ～破損・変形・変色の原因になります。～
	禁止	配線革命に、重い物を落としたり、ぶつけたりするような、強い衝撃を与えないで下さい。 ～破損・変形の原因になります。～	禁止	配線コードの定格・負荷容量の範囲外で使用した配線コードや束ねた配線コードは入れないで下さい。 ～破損・火災・変形の原因になります。～
	必ず守る	配線コードの出し入れ及び移動は、必ず電源プラグを抜いてから作業を行ってください。 ～電源を切らないと、感電の原因になります。～	必ず守る	配線の出し入れ及び移動後、軟質部分を所定の位置に設定して下さい。 ～軟質部分の破損・変形の原因になります。～
	必ず守る	汚れた場合、すみやかにふきとってください。汚れがひどい場合、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないようにふきとってください。シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。～変色・変形・破損の原因になります。～		

～配線自在収納モジュール **配線革命** 施工方法～

1. 配線革命の設置準備

○役物を取付けるための隙間を設けるよう、本体の寸法設定を行ってください。隙間寸法は下記寸法に従い設定して下さい。

注意 下図寸法設定を行わないと、役物を取り付けられない場合があります。



<配線革命のカット方法>

注意 刃物を使用する際は、けがをしないよう十分注意して作業して下さい。

○金ノコなどの、目の細かいノコギリでカットして下さい。

○軟質部分がカットしづらい場合は、はさみ等でカットして下さい。

2. 配線革命の取付け方法

禁止 配線コードを収納したまま施工を行わないで下さい。

(1) 両面テープ施工の場合 (両面テープ施行には別売の『専用両面テープ』をご使用ください。)

注意 壁面にホコリ・油分などがある場合や、凹凸があると十分な接着力が得られない恐れがあります。

L=1000両面テープありタイプの場合

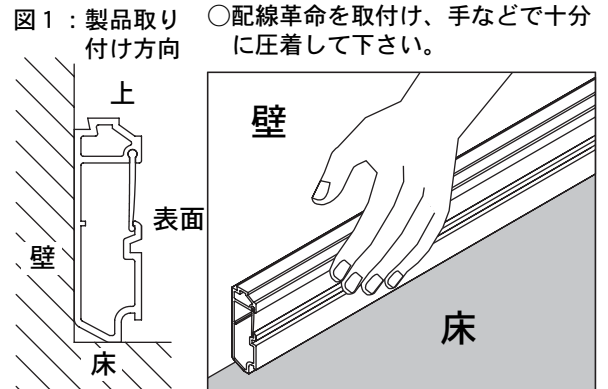
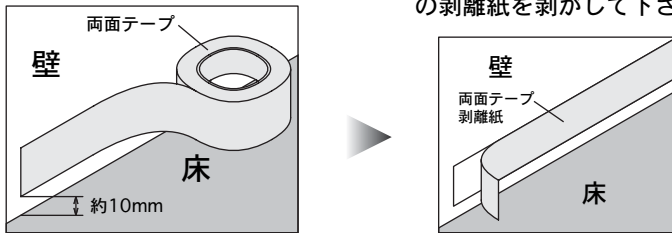
- 製品裏面の両面テープ剥離紙を剥がして下さい。

Mタイプ両面テープ幅：30mm
Sタイプ両面テープ幅：13mm



L=1000両面テープなし、1800、3600タイプの場合

- ・専用両面テープを壁面に、床から約10mmの隙間をあげ、床と平行に貼り付けます。
- ・手やローラーなどで、両面テープを十分に壁面に圧着後、貼り付けた両面テープの剥離紙を剥がして下さい。



注意

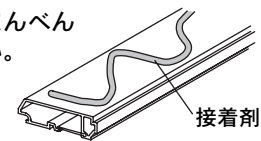
- 製品の取り付け方向をまちがえないように注意して取り付けして下さい。(図1)
- 無理な力で押し付けすぎると、製品が破損する恐れがあります。

(2) 接着剤、釘打ち併用施工の場合

注意 壁面にホコリ・油分などがある場合や、凹凸があると十分な接着力が得られない恐れがあります。

・接着剤塗布

- 製品裏面に接着剤をまんべんなく塗布して下さい。

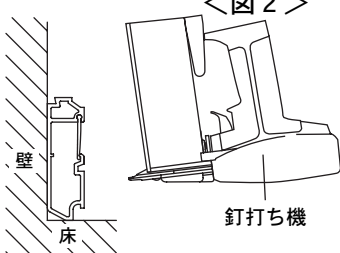


注意

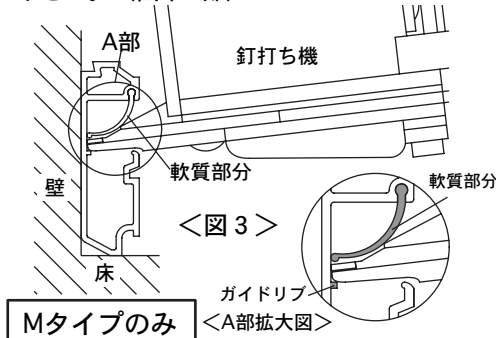
- 溶剤系の接着剤は使用しないでください。製品表面が溶ける恐れがあります。

・釘打ち

○図2のような方向で釘打ちを行って下さい。



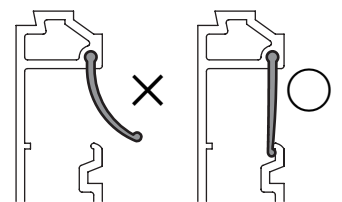
○図3のように軟質部分を押し込み、釘打ち機先端部分をガイドリップに沿って釘打ちして下さい。(図中A部)



注意

- 合板、木枠があることを確認してから釘打ちしてください。十分固定できない場合があります。
- 軟質部分に釘を打たないように、十分注意して釘打ちして下さい。破損の恐れがあります。
- 釘打ちの際、軟質部分が変形した場合、所定の位置に戻してから使用して下さい。(図4)

図4：施工後の軟質部位置



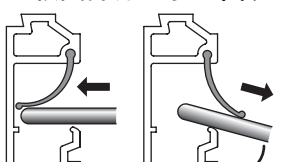
注意
上記方法以外で釘打ちを行った場合、製品にキズがつく恐れがあります。

Mタイプのみ

(3) ビス施工の場合

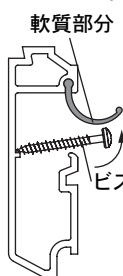
注意 ビスが打ちにくい場合、製品本体にあらかじめ下穴を開けてから施行して下さい。

・軟質部分を引き出す



- 図のように、先端の丸い棒やコイン等を差し込み、矢印の方向へ抜き出して、軟質部分を引き出して下さい。

・ビスを打つ



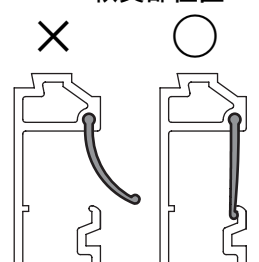
- 図のように、軟質部分をめくりながら、ビスを打ってください。

注意
軟質部分を引き出す際は、製品の破損やキズに十分注意して下さい。

注意

- 合板、木枠があることを確認してからビス打ちしてください。十分固定できない場合があります。
- 軟質部分にビスを打たないように、十分注意して釘打ちして下さい。破損の恐れがあります。
- ビス打ちの際、軟質部分が変形した場合、所定の位置に戻してから使用して下さい。(図5)

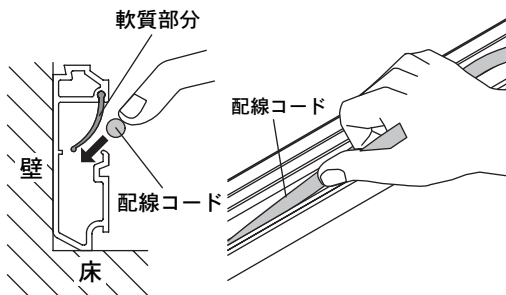
図5：施工後の軟質部位置



3. 配線コードの収納方法

⚠注意 かならず配線コードの電源プラグが抜いてあるか確認してから作業して下さい。

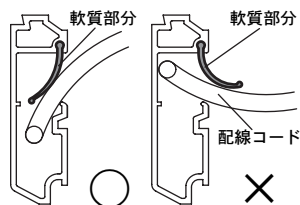
○図のように軟質部分に、配線コードを指であてがい、押し込んでください。



⚠注意 無理に配線コードを押し込むと、製品が破損する恐れがあります。

⚠注意

配線コードの取出し部分は下図のように、軟質部分が巾木本体内部に納まるように設定して下さい。



⊘禁止

●配線コードの定格、負荷容量の範囲外で使用した配線コードや、束ねた配線コードは入れないで下さい。火災・破損・変形の恐れがあります。

⚠注意

●配線コードを収納本数以上に入れ過ぎると、破損・変形の恐れがあります。

＜配線コード収納本数の目安＞

ケーブル種類	導体	仕上り外形 (mm)	Mタイプ 収納本数	Sタイプ 収納本数
延長コード (OAタップ等)	2sp×2C	7.0×4.0	4本	2本
モジュラーコード (電話線)	6極4芯	5.0×2.5	6本	3本
UTP (Cat5)	φ5×4P	φ5.0	3本	2本

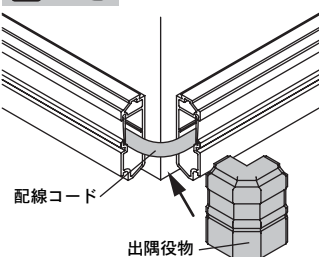
4. 役物の取付け方法

⊘禁止 ●役物は接着しないで下さい。

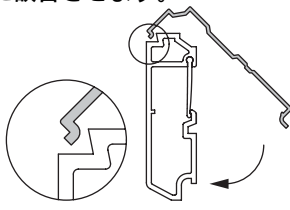
⚠注意 ●役物はかならず配線コードを収納したあとに取り付けて下さい。

出隅役物

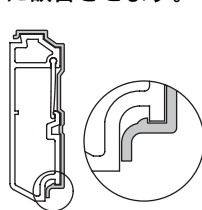
⚠注意 無理に役物を嵌合させると破損する恐れがあります。



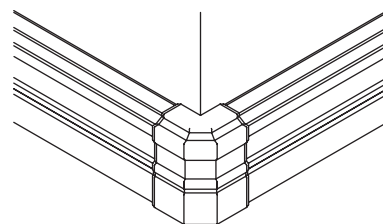
・巾木本体上端部に嵌合させます。



・巾木本体下端部に嵌合させます。

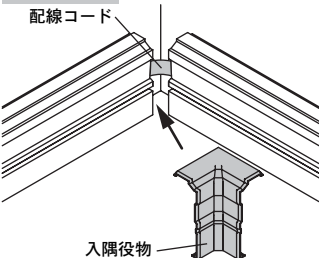


＜出隅役物納まり図＞

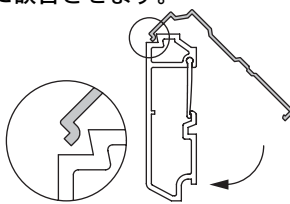


入隅役物

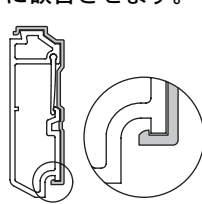
⚠注意 無理に役物を嵌合させると破損する恐れがあります。



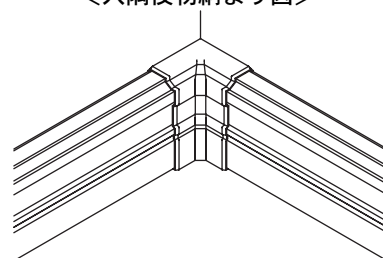
・巾木本体上端部に嵌合させます。



・巾木本体下端部に嵌合させます。



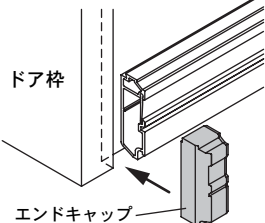
＜入隅役物納まり図＞



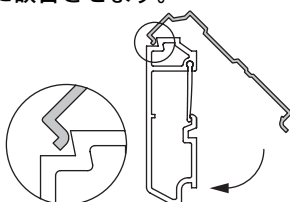
エンドキャップ

⚠注意 無理に役物を嵌合させると破損する恐れがあります。

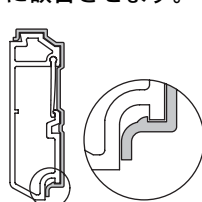
(図はLタイプ)



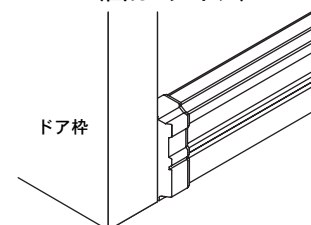
・巾木本体上端部に嵌合させます。



・巾木本体下端部に嵌合させます。

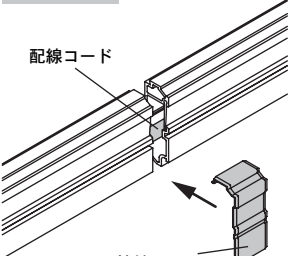


＜エンドキャップ納まり図＞
(図はLタイプ)

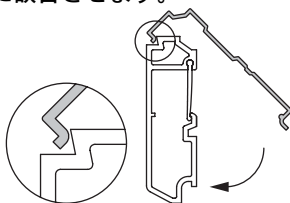


接続カバー

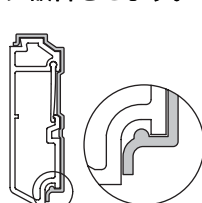
⚠注意 無理に役物を嵌合させると破損する恐れがあります。



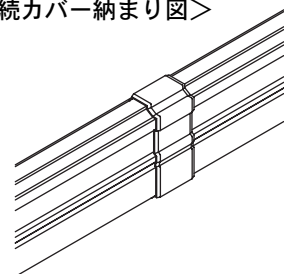
・巾木本体上端部に嵌合させます。



・巾木本体下端部に嵌合させます。



＜接続カバー納まり図＞



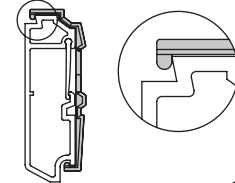
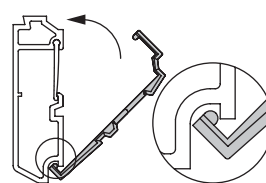
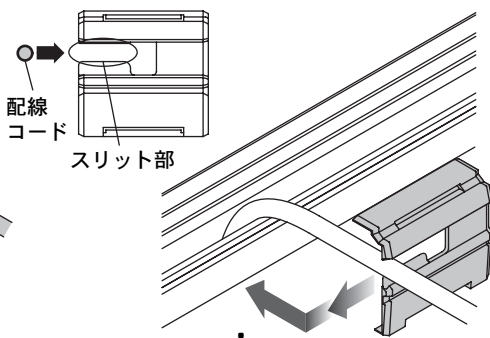
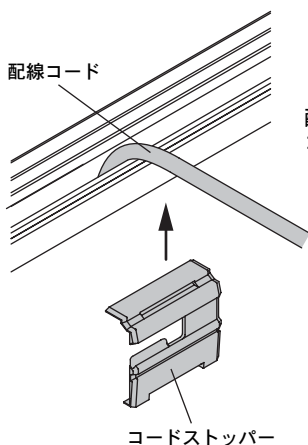
コードストッパー

⚠ 注意 無理に役物を嵌合させると破損する恐れがあります。

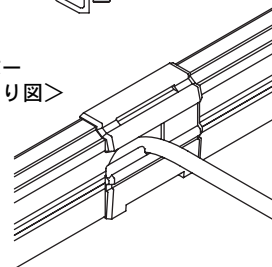
・配線コードをコードストッパーのスリット部から差し込みます。

・巾木本体下端部に嵌合させます。

・巾木本体上端部に嵌合させます。



<コードストッパー納まり図>

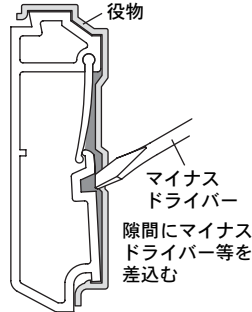


⚠ 注意 配線コード1本につき1個使用して下さい。本数が多い場合、製品が破損する恐れがあります。

5. 配線コードの取り出し方

・役物を取り外す1 (出隅役物・入隅役物・エンドキャップ・接続カバー)

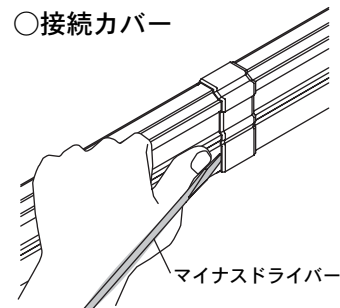
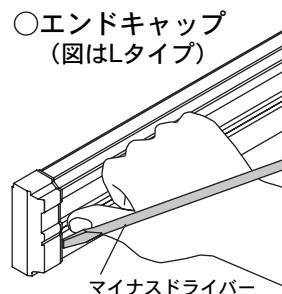
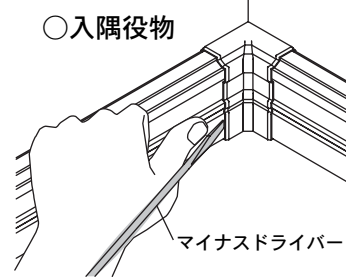
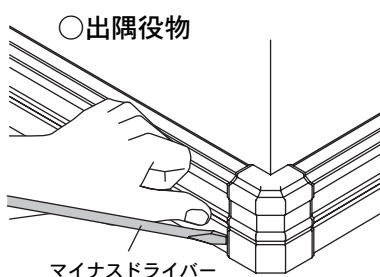
○役物付近の配線革命本体の下部を指で軽く押しながら、本体と役物の間にできた隙間にマイナスドライバー等を差し込み、ゆっくりと役物を取り外して下さい。



⚠ 注意
無理に押すと、本体が破損する恐れがあります。

⚠ 注意

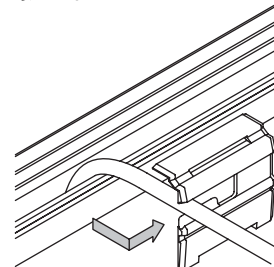
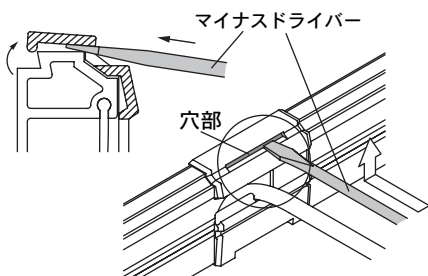
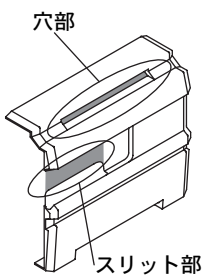
役物を無理に外そうとすると、製品にキズがついたり、破損する恐れがあります。十分に注意して取り外して下さい。



・役物を取り外す2 (コードストッパー)

・穴部にマイナスドライバー等を差し込み、ゆっくりと役物を取り外して下さい。

・スリット部分から配線を抜き取って下さい

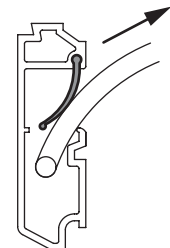


⚠ 注意

役物を無理に外そうとすると製品にキズがついたり破損する恐れがあります。十分に注意して取外して下さい。

・配線コードを引き出す

○配線コードをゆっくりとひっぱり、取出して下さい。



⚠ 注意

無理に配線コードを引張ると、製品が壁から外れたり、破損する恐れがあります。

製造・発売元

東都積水株式会社

本社：東京都港区芝大門2丁目8番13号 (サクセス芝大門ビル3F) 〒105-0012
TEL 03 (3438) 2270 FAX 03 (3438) 2271
ホームページアドレス：http://i-front.sekisui.co.jp/toto-sekisui/